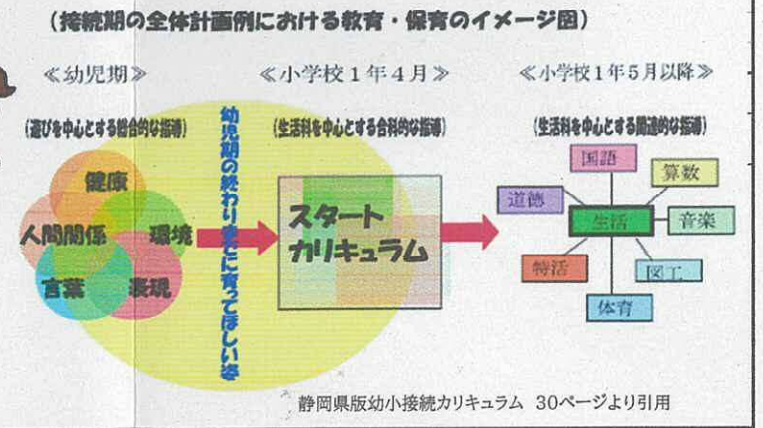
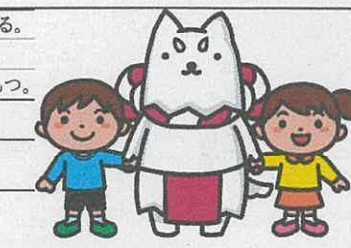


育みたい「資質・能力」	「知識・技能の基礎」 「思考力・判断力・表現力等の基礎」 「学びに向かう力・人間性等」	集団生活を送る上で必要な生活上のマナーやきまり、技能を身に付け自分のことは自分でできるようにする。 よりよい活動になるように、対象となる「人・物・こと」に主体的に関わり、自ら判断して、行動する。 できたこと、分かったこと、役にたったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。
磐田市教育委員会の目標	ふるさとを愛し 未来をひらく 心豊かな磐田市民	
学校教育目標	えがお かがやく にしのこ	
のな 基本的な生活習慣	あいさつ 「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」「ごめんない」「はい」を相手の目を見て言う。 ◎自分からあいさつをする。 食事の仕方 正しいマナーで食べる(箸を正しく持つ。食器を持って食べる) ◎時間内に食べようとする。 トイレの使い方 汚さないでトイレを使う。トイレを使った後、水を流す。 ◎休み時間にトイレに行く。 整理整頓 物を大切に扱う。履物を揃える。 ◎自分の道具を使いやすく片付ける。 清潔 ◎髪の毛をとかし、爪を短く切っておく。◎食後は歯を磨く。◎鼻水が出たら、ティッシュでかむ。	た 竜洋西小学校の校姿として育て
社会性	人の関わり 自分のよき、友達よき、思いやりの気持ちをもって接する。 ◎友達と共にめあてに向かって学び合う。 聞く 話を相手の顔を見て聞く。 ◎背筋をまっすぐに伸ばして聞く。 話す 相手の顔を見て話す。友達には「さん」を付けて呼ぶ。 ◎自分の考えを、正しい言葉で話す。◎場に合った声の大きさで話す。 ルール よいこと悪いことに気付き、行動する。 ◎学習や生活の中できまりを守る。◎時間を守る。	目指す子ども像 ・自分の考えをもち 対話を通して 学びをつくる 「本気で考え みんなで学ぶ子」 ・他者に心を寄せ 自ら判断し 正しい行動をとる 「自分も友達も大切に子」 ・健やかで 活き活きと 生活する 「友達と元気に生活する子」 【気付いて考動！ みんなとやってみよう！】



接続カリキュラムの期間	4月		5月		6月		7月	
	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
学校・学年行事	入学式 始業式 町別児童会	避難訓練 交通安全教室		にしのこ出発の会 観劇		プール開き	防犯教室	終業式
家庭・園・地域との連携	スタートカリキュラム園職員参観	参観会 懇談会 PTA総会	引渡し訓練 家庭訪問 竜洋学府合同研修会	学校運営協議会	保幼小連絡会 民生児童委員との懇談	参観会	保護者面談	

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿  
ア 健康な心と体 イ 自立心 ウ 協同性 エ 道徳性・規範意識の芽生え オ 社会生活との関わり カ 思考力の芽生え キ 自然との関わり・生命尊重 ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ 言葉による伝え合い コ 豊かな感性と表現

単 元 配 列 表	生活科を核とした 総合的な単元等 生活科 (東京書籍) ・スタートカリキュラムとして4月に 10~15時間程度の カリキュラムを 学校ごとに設定する。	スタートカリキュラム (ア~コは育ってほしい姿に対応) (せ)・せいかつタイム (な)・なかよしタイム (ま)・まなびタイム 教科として行う内容は教科名	生活科 たねをまこう(ウキコ)	生活科 せわをしよう(ウキケコ)	生活科 なつがやってきた(アウキケコ)	生活科 はなのようすをつたえよう(ウクケコ)			
	特別活動	にしのこ10のやくそく 1年生のスタート 安全な登下校の仕方	楽しい給食	自分たちでできる仕事 掃除の仕方	図書室の使い方	丈夫な傘にしよう 雨の日の過ごし方	タブレットの使い方	はじめての夏休み	
	国語 (光村図書)	いい てんき さあ はじめよう	おはなし たのしいな あつまって はなそう えんぴつと なかよし どうぞ よろしく なんて いおうかな こんな もの みつけたよ うたにあわせて あいうえお	つづけよう① はなの みち としよかんへ いこう かきと かぎ ぶんをつくろう ねこと ねっこ	こえに だして よもう ききたいな、ともだちのはなし	わけを はなそう おばさんと おばあさん くちばし おもちゃと おもちゃ あいうえおで あそぼう おおきくなった おおきな かぶ	おはなし たのしいな あつまって はなそう えんぴつと なかよし どうぞ よろしく なんて いおうかな こんな もの みつけたよ うたにあわせて あいうえお	はをへを つかおう すきな もの、なあに おむすびころりん としよかんと なかよし こんなことが あったよ	
	書写 (光村図書)	はじめに じぶんのなまえをかこう しよしゃたいそう	はじめに じをかくしせい えんぴつのもちかた てのうごかしかた	ひらがなのかきかた 「とめ」と「はらい」と「はね」 「まがり」と「おれ」	ひらがなのかきかた 「むすび」 「かきじゅん」	ひらがなのかきかた 「むすび」 「かきじゅん」	ひらがなのかきかた すきなもの、なあに にているひらがな		
	算数 (学校図書)	10までのかず (4月上旬~5月上旬)〈18ページ 10時間〉	いくつといくつ (5月上旬~中旬) 〈8ページ 4時間〉	あわせていくつ ふえるといくつ (5月中旬~6月中旬)〈18ページ 15時間〉	のこりはいくつ ちがいはいくつ (6月中旬~7月中旬)〈16ページ 14時間〉	なんぼんめかな (7月下旬)〈4ページ 2時間〉			
	音楽 (教育芸術社)	うたって おどって なかよくなるろう 〈4時間〉 うたってなかよし セブン ステップス ひらいた ひらいた	はくを かんじとろう 〈7時間〉 さんぼ じゃんけんぼん なまえあそび フルーランド みんなで あそぼう	はくに のって リズムを うたう 〈8時間〉 しろくまの ジェンカ かたつむり ぶん ぶん ぶん ことばで リズム	うみ みのまわりの おとに みみを すまそう 〈2時間〉 おとを さがして あそぼう				
	図画工作 (日本文芸出版)	おひさまにここに かきたいものなあに	すなやつちとなかよし	ちよきちよきざり	ひもひもねんど	おってたてたら	やぶいたかたちからうまれたよ	ごちそうパーティはじめよう!	カラフルいろみず ひらひらゆれて
	体育 (学研)	B 器械・器具を使っての運動遊び A 固定施設を使った運動遊び	C 走の運動遊び A かけっこ	A 体つくりの運動遊び ア ボールゲーム イ 多様な動きをつくる運動遊び	E ゲーム イ 鬼遊び	D 水遊び ア 水の中を移動する運動遊び	イ もぐる・浮く運動遊び		
	道徳 (光村図書)	がっこう だいすき きもちの よい せいかつ	あかるい あいさつ なかよくね よい ことと わるい こと	みんな じょうず みんな いきてる かぼちゃの つる どうして こう なるのかな	きんのおの かぞくと おはなし				

園との接続を意識した教師の関わりや具体的な支援

- ・1時間目に「ここにこタイム」を設け、幼児教育でなじんだ活動を取り入れる。一日のリズムを作る。(前半)
- ・生活科を中心とした総合的学習を展開する。
- ・園の指導要録を読み、個々のこれまでの育ちを知るとともに、個々の様子を見守り、不安な気持ちに寄り添う。
- ・習字文、給食準備・片付け、帰りの会、掃除、当番活動など園で身に付けたことを見取り、奨励するとともに、学校生活に取り入れていく。
- ・朝の支度(提出物含む)が自分でできるように個に応じた支援をし、自分でできていることを奨励する。
- ・学級、学年の友達と関わりがもてるような活動を意識的に取り入れる。
- ・45分授業に移行しながらも、児童のペースに合わせた弾力的な時間配分を心掛ける。
- ・学級内で問題が起こったら、どうしたらよいか児童に問い、これまでの経験を想起させて自分たちで解決できるように促す。
- ・教師の肯定的な声掛けを多くし、児童の主体的な態度を促す。
- ・学習や行動で気になる子について、情報を整理し、保幼小連絡会で伝え、情報共有をする。
- ・学校生活に慣れるために、一日の生活の流れをパターン化する。また、朝にすることを絵カードで示すなど視覚的に分かりやすくする。→ 絵カードに文字を入れたり、カードの数を減らしたりと段階的に指導する。

静岡県版幼小接続カリキュラム「じぶんでできた！ いっしょにやろう」より引用

※ 磐田市立小学校でも、三つの活動を意識してスタートカリキュラムを作成する。

#### (4) スタートカリキュラムの構想

##### 三つの活動の設定と弾力的な時間割の構成

子どもが幼児期に親しんできた生活リズムや一日の過ごし方に配慮し、以下の三つの活動を設定しました。そして、活動時間も、小学校の1単位時間である45分を基本とするのではなく、子どもが集中する時間や意欲の高まりを大切に、15分程度の短い時間を単位として時間割を構成したり、2時間続きの学習活動を位置付けたりしました。

##### 《せいかつタイム》

小学校での生活が分かり、一人一人が、安心感をもち、自分の力で生活したり、新しい人間関係を築いたりできるようになることをねらいとした活動。これにより、自己肯定感が高まり、次の活動への意欲につながり、学校生活を楽しむことを期待している。学校の日課にとらわれず、柔軟に時間を設定することで、子どもに自分の力で活動する機会を十分与え、できたことを誉めていくようにする。

##### 《なかよしタイム》

3つの活動の中で中心的な活動。生活科の内容を中心とする学習活動を行う。子どもの思いや願いをもとに学習活動を展開していくことで、主体的に物や人に関わって学習に取り組むことを期待している。

##### 《まなびタイム》

教科等の内容を中心とした学習。一人一人に応じた手だてを講じることで、どの子どもも「自分でわかった」「自分でできた」という学びの実感を積み重ねることができるようにする。子どもの発達の実態に応じ、最初は、15分程度のモジュールで学習活動を計画し、徐々に45分の授業につなげていく。

三つの活動は、各教科等による時間割への移行を見据えて、最初は、《せいかつタイム》《なかよしタイム》が一日の活動の中心となるように設定し、少しずつ《まなびタイム》の時間を増やしていくようにしました。

また、スタートカリキュラムに要する授業時数は、関連する教科の授業時数から充当し、1週間の授業時数を下記のとおり配当しました。実際に、各学校でスタートカリキュラムを実施する場合は学校の実情を考慮して授業時数を配当してください。

##### スタートカリキュラムにおける授業時数の配当（1週間単位）

国語・・・9時間	算数・・・4時間	生活・・・3時間	音楽・・・2時間
図画工作・・・2時間	体育・・・3時間	道徳・・・1時間	特別活動・・・1時間

## 1週間単位で構想する

1週間を一つの小単元として考え、週のねらいや時間割を設定しました。また、「自分のことは自分でする」から「クラスのために自分の役割を果たす」へ、「身近な友達や先生との関わり」から「学級・学校との関わり」へ、徐々にステップアップしていくように学習活動を配列しました。また、(5)週の指導計画例では、第1週から第4週までの週の指導計画例を掲載していますが、各学校においては、学校や児童の実態に応じて必要な期間の指導計画を作成してください。

《スタートカリキュラムにおける三つの活動のイメージ》

第1週	第2週	第3週	第4週
<b>せいかつタイム</b>			
<b>なかよしタイム</b>		<b>なかよしタイム</b>	
<b>まなびタイム</b>			

（注）期間例は、原則として、第1週から第4週までの期間を想定している。また、第1週から第4週までの期間を想定している。また、第1週から第4週までの期間を想定している。

# スタートカリキュラム 1週

## 「はじめまして がっこう」

### 竜洋西小

4月	時	5 (金)	8 (月)	9 (火)	10 (水)	11 (木)	
	7:45 8:10		・登校したら、ランドセルを机に置き、トイレに行く。 ・席に着いてお絵かき、読書などをする。(ランドセルは机の横) ・放送が鳴ったら、机の上のものを片付ける。放送を良い姿勢で聞く			朝の支度を自分で行う 放送が鳴ったら着席する	
	8:10 朝の会	(せ)せいかつタイム (な)なかよしタイム	朝の活動を教師と一緒に全員でする。 1 ランドセルを机に置き、提出物(連絡帳や封筒)を出し、残りを道具箱にしまう。 2 帽子をランドセルに入れ、ロッカーにしまう。(ランドセルのしまい方指導) 3 上靴袋や横断バック、体育袋などを廊下のフックに掛ける。 4 朝の挨拶 5 健康観察 短日課のときは、朝の挨拶・健康観察を行う。			朝の支度の確認 朝の挨拶・健康観察	
	8:30 9:15 (8:20 9:05)	行 受付 入学式について 返事の仕方 トイレ 並び方(番号順)	ここにこタイム(園で体験した遊び等を入れ、安心感を持たせる。同じリズムで一日をスタートさせる)				
1		学 (せ)あいさつ・返事の仕方(短日課のため、健康観察を含む)	学 (せ)あいさつ・返事の仕方	音 (な)歌・ゲーム	音 (な)歌・ゲーム		
		学 (せ)先生の紹介 教室の過ごし方	生 (せ)着替えの仕方 体操服の着替え方 服のたたみ方	生 (せ)靴箱・傘立ての使い方	学 (せ)廊下の歩き方 トイレの使い方		
		音 (な)歌・ゲーム	体 (ま)並び方 出席番号順2列	国 (ま)読み聞かせ・ビデオ	国 (ま)読み聞かせ・ビデオ		
2	9:25 10:10 (9:15 10:00)	行 入学式	学 (せ)町別児童会のお話 帰りの支度の仕方 ・連絡袋に連絡帳等 をしまう。 ・ランドセルを取りに行き、道具箱「おかえりばこ」の中のもの をしまう。 ・トイレに行く ・お迎えを待つ。	行 (せ)身体測定 ・身長、体重を測る ・待っている間個人 写真を撮る ・健康についての話を 聞く(養護教諭) ・着替えをする(教室) 服のたたみ方、体育 袋の片付けなど	生 (ま)避難経路確認 地震の後の津波を 想定し、教室から3 階、屋上への道を歩 いて確認する。 防災頭巾の扱い方	生 がっこうたんけんを しよう 校舎内を一周し、何 があるかを確かめ る。 (保健室、図書室、 体育館は確認す る。)	
3	10:20 11:05 (10:10 10:55)	生 担当職員と過ごす 紹介ビデオ 読み聞かせ 手遊びなど (担任は体育館で保 護者に配付物の説 明等を行う。)	行 (せ)町別児童会 班長お迎え、通学 班の教室へ向かう ※迎えに来なかった 子のフォローをする	学 (せ)視力検査 待っている間はお絵 かきや塗り絵をす る。	学 (せ)あんげんにか えろう ランドセルのテーブ の色 下校グループの確 認 下校の先生紹介(で きれば来ていただ く)	図 すきなもののいっぱい 好きなものの絵を描 く 8つ切画用紙 クレパス 氏名票準備 何を描いたか記録し ておく	
4	11:15 12:00 (11:05 11:50)	担任自己紹介 明日の連絡	(せ)集団下校 ※提出していただ いた紙で下校の場所 を確認し、担当に連 絡しておく。	学 (せ)楽しい給食 栄養教諭紹介	学 (せ)配膳の仕方・ 準備	生 (せ)道具箱の使い 方 「おとまり箱」の整頓	
				学 (せ)配膳の仕方・ 待ち方 食事のマナー	学 (せ)配膳の仕方・ 準備	学 (せ)配膳の 仕方・準備	
きゅうりく		×	×	○	○	○	
帰り	12:45 ~			昼 帰りの準備	明日のお話 下校グループで並ぶ	明日のお話 下校グループで並ぶ	
5	13:45 14:30 (13:05 13:50)			生 (せ)みんなとなか よし 晴れたら遊具で遊 ぶ 雨は教室で学級遊 びを行う	下校指導(参観会前日まで)		
				国 (ま)読み聞かせ 今日楽しかったこと 集団下校			
ポイント	「はじめまして がっこう」 ・園での活動の様子を引き出しながら、学校のやり方を確認する。 ・朝の支度を一緒にいき、指導の徹底を図る。朝の時間に余裕をもたせる。 ・1時間目に「ここにこタイム」を設け、幼児教育でなじんだ活動を取り入れる。一日のリズムを作る。 ・休み時間を少し多めに取、個々の様子を見守り、不安な気持ちがあったら寄り添う。				国2 算0 生4.6 音0.6 図1 体0.3 道0 学6.3 行4 計19		

# 基本的な生活習慣と社会性が 身についた子どもに育てるために

## ● 大人が、手本を示しましょう。

子どもにとって、見ることも聞くことは大きな影響を与えます。  
「時を守り、場を清め、礼を尽くす」教育哲学者：森信三先生の教えを心に。

## ● 一人一人に応じた関わりをしましょう。

この表は、あくまでも目安です。  
「目をかけ、手をかけ、声をかけ」、一人一人の「発達」や「学び」の状況を考慮し、  
励ましの言葉を掛けていきましょう。

## ● 5歳児と小学校1年生の担任だけではなく、磐田の子育てに かかわる者として全職員が継続した支援を意識しましょう。

### 継続的实践例 ①

#### あいさつ

ある園では、「おはようございます。」と明るいあいさつをする担任に続いて「おはようございます。」と元気に応える4歳児の姿がありました。園庭で「こんにちは。」と大きな声であいさつをした5歳児の姿に感動した来客者が「こんにちは。いいあいさつだね。気持ちいいよ。」とほめてくださいました。

### 継続的实践例 ②

#### 食事の仕方

ある小学校では、給食の時間に味噌汁を飲む際に、2年生の教室で、「お椀を持って食べようね。」という担任の声掛けがありました。5年生の教室では、同様の声掛けが子ども同士であり、その様子を笑顔で見守る担任の姿がありました。

【作成】

平成24年度 小学校教務主任等、幼稚園・保育園主任合同研修会  
平成25年度 保幼小合同研修会

※本リーフレットは、すべての市立・私立の認可保育園・幼稚園、小学校が参加する合同研修会において作成しました。  
※園と小・中学校との連携を深め、よりよい子ども理解や一貫した指導・支援に結び付けてくださることを願っています。

# 保幼小の 円滑な接続



磐田市  
イメージキャラクター  
ひっぺり  
©磐田市

磐田市では、一人一人の子どもの10年先、20年先の成長を見据え、「今の学びがどのように育っていくのか」「今の学びがどのように育ってきたのか」を意識して、個に応じた指導、支援を積み重ねていくことが重要と考えます。

そこで、幼稚園・保育園から小学校へと、子どもの「発達」や「学び」をより滑らかにつなげていくことを目的として、リーフレットを作成しました。

本リーフレットは、就学前後の接続期(5歳児1月～3月から小学校1年生4月～5月)に焦点を絞り、人として生きていく上で大切にしたい「基本的な生活習慣」と「社会性」について、目指す子どもの姿を表にしたものです。

「オール磐田」の取組として、全職員が共有し、今、担任している子どもの「発達」や「学び」の状況に合わせた声掛けを工夫していただければ幸いです。

平成26年3月

磐田市教育委員会学校教育課  
磐田市健康福祉部こども課

## 保幼小の円滑な接続に向けての主な基本的な生活習慣

	幼稚園・保育園 (5歳児1月～3月)	小学校 (1年生4月～5月)
あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」「はい」を相手の目を見て言う。</li> <li>大きな声であいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分からあいさつをする。</li> </ul>
食事の仕方	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しいマナーで食べる(箸を正しく持つ。食器を持って食べる。)</li> <li>好き嫌いをしないで食べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間内に食べようとする。</li> </ul>
トイレの使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>汚さないでトイレを使う。</li> <li>トイレを使った後、水を流す。</li> <li>一斉で活動するときにトイレに行きたくなったら先生に言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休み時間にトイレに行く。</li> </ul>
整理整頓	<ul style="list-style-type: none"> <li>物を大切に使う。</li> <li>履き物を揃える。</li> <li>自分の道具を決められた場所に丁寧に片付ける。(クレヨン、ハサミ、のり など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の道具を使いやすく片付ける。(机、イス、教科書など)</li> </ul>
清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンカチ、ティッシュを忘れずに持つ。</li> <li>外から帰ってきたら、手洗い、うがいをする。</li> <li>手洗いをしたら、ハンカチで拭く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>髪の毛をとかし、爪を短く切っておく。</li> <li>食後は歯をみがく。</li> <li>鼻水が出たら、ティッシュでかむ。</li> </ul>

## 保幼小の円滑な接続に向けての主な社会性

	幼稚園・保育園 (5歳児1月～3月)	小学校 (1年生4月～5月)
人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のよさ、友達のよさに気付く。</li> <li>思いやりの気持ちをもって接する。</li> <li>友達と同じ目的をもって協力して遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と共にめあてに向かって学び合う。</li> </ul>
聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>話をする人の顔を見て聞く。</li> <li>話を最後まで聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>背筋をまっすぐに伸ばして聞く。</li> </ul>
話す	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の顔を見て話す。</li> <li>友達には「さん」を付けて呼ぶ。</li> <li>自分の考えや気持ちを言葉で伝える。</li> <li>相手に聞こえる声で話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを、正しい言葉で話す。</li> <li>話す場に合った声の大きさと話す。</li> </ul>
ルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>よいこと悪いことに気付き、行動する。</li> <li>遊びや生活の中できまりを守る。</li> <li>時間を意識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習や生活の中できまりを守る。</li> <li>時間を守る。</li> </ul>